

# 日本共産党が申し入れ 岩月ひろし議員の辞職勧告陳情 議会では政治倫理調査委員会の開催を

## 問われる請願権・陳情権

3月議会に提出された陳情に対して改めて碧南市議会の態度が問われています。陳情第1号は、統一協会関係者から出された「庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情」で、憲法で保障する思想信条の自由と公党に対し攻撃する反民主的な陳情です。もう一つは、陳情第2号 碧南市議会にて「岩月ひろし議員への議員辞職勧告決議」を求める陳情で個人名を明記して攻撃する陳情です。

## 碧南市議会は郵送のみ不受理

碧南市議会は、日本共産党も含め広く請願権・陳情権を保障するために郵送は不受理とし直接持参したものは市外の方でも受け付けてきました。ところが昨今、他市議会でも個人名を明記し攻撃する請願が紹介議員までつけて提出され物議をかもしました。

## 碧南市議会で「岩月ひろし議員への辞職勧告決議」を求める陳情

### 陳情理由

碧南市議会の皆さまには、日頃から市民の代表として市政発展の為、市議会として活動していただきありがとうございます。私は、日頃から市議会の本会議や委員会などインターネット中継を視聴したり、公開した記録を閲覧しており、碧南市議会議員の皆さまの市政発展への思いを強く感じているところであります。

選挙で選ばれた皆さまには、私たち有権者の代表として職務を全うしていただきたく思っておりますが、この職務に相応しくない議員がいます。それは、岩月ひろし議員です。

私が独自に調査したところ、岩月議員は2022年6月15日、または16日頃、碧南市●●●にて自身が飲みたかった飲み物が置いてないことに腹を立て、店主に対して「こんな店潰してやる」と恫喝しました。岩月議員は、この恫喝だけでは収まらず、自身のインスタグラムアカウントのストリーズ（24時間で自動消去される投稿）に店主の顔写真を載せ、そこに「潰す」と明記して投稿をしたのです。

この恫喝と行為は、市民の代表である議員として倫理観の無いものでありますし、威力業務妨害とも取れる事を、市民が営む飲食店で碧南市議会議員がしたのです。到底許されるものではありません。

常任委員会総務委員会の委員長に就く岩月氏は、その立場に不適合ですし、碧南市議会議員としても不適合であると思います。本来、岩月ひろし議員は、心から謝罪をして自ら職を辞すべきです。

しかし、本人から何の申し出もないのであれば、碧南市議会として同議員に対し、議員辞職を勧告する決議をしていただきたいと思陳情します。

## 本人抜きで可否でいいのか

この2つの陳情は3月8日の総務文教部会で審議がされますが、ここには日本共産党は所属していません。岩月ひろし議員は、当事者ということでは会場外に出される予定です。今後、正副議長と岩月委員長、林田副委員長と事前打ち合わせをして正式決定をするようです。内容はともかく本人の釈明もなしに可否を決めていいのでしょうか。統一協会から一方的に攻撃されている日本共産党にも堂々と意見をいう場所を保障すべきです。

## 日本共産党は政治倫理審査会と委員外発言を要求

日本共産党は、2月21日、全議員に岩月議員問題での政治倫理審査会として真相をあきらかにすること。統一協会関係者からの陳情では委員外議員の発言を文書で求めました。

### 碧南市議会会議規則

(委員外議員の発言)

第109条 委員会は、審査又は調査中の事件について、必要があると認めるときは、委員でない議員に対し、その出席を求めて説明又は意見を聴くことができる。

2 委員会は、委員でない議員から発言の申し出があったときは、その可否を決める。

## 請願も陳情も本会議で全議員の賛否を明確に

憲法違反や個人攻撃の陳情請願の受理のルールを明確にしたうえで、紹介議員がないと陳情。あれば請願となるので同等の扱いとし、全議員が賛否を市民の前に明らかにすべきです。

## 問われる碧南市議会の民主主義の力量

与党議員は、市民から出された請願陳情の多くを否決し「聞く耳持たぬ」態度をとる人がいます。誰のための議会か、民主主義と権利に対する碧南市議会の力量が問われます。

## 反共は戦争前夜の声

山口・岡本



→読者さんからイラスト届きました。

# 反戦 黙らない 岸田大軍拡反対

# 東京・渋谷 市民がパレード



(写真) 「戦争反対」「軍事費増やすな」などとコールしながら行進する人たち  
=25日、東京都渋谷区

「反戦行進0225」  
「NO WAR MARCH」 2月25日、  
アパレルや音楽関係者、研究者をはじめ幅広い市民有志で  
つくる実行委員会が呼びかけた「反戦行進0225/NO  
WAR・MARCH」が東京渋谷で行われ約1000人が  
行進しました。

**軍事費増額に反対する声可視化を**  
実行委員のひとりで、ライブハウス「LIVE HOUSE」店長のスガナミユウさんは、ロシアによるウクライナ侵略から1年が過ぎ、多くの人が物価高騰などに苦しむなか、「軍事費の大幅増額など、戦争へ向けた準備が進められています。そうした政治に反対する、市民の声を大きく可視化させたい」と述べました。

若い世代の参加者が目立ち、東京都杉並区の男性(31)は、安保3文書など大軍拡へと突き進む岸田政権に不安を感じてパレードに来たと話し、「私の声は小さいかもしれないが、国民の命と暮らしを無視するなど表明したい」と話しました。

東京都立川市に住む大学3年生(21)は、ロシアによるウクライナ侵略が終わらないことに胸を痛めていると話し、「黙っていたら、日本でも政治家によって戦争が引き起こされてしまうかもしれない。私は戦争に反対です」と語りました。

**平和の声 全国で**  
**ウクライナ侵略1年 東京で集会・デモ**  
24日には、ロシアによるウクライナ侵略から1年、一日も早い戦争終結と平和を求める行動が全国各地で取り组まれました。東京・日比谷野外音楽堂で開かれた集会とデモには、雨が降るなか1000人(主催者発表)が参加し、「ロシアは侵略をやめろ」などが書かれたプラカードを掲げてアピールしました。

**ロシアに断固抗議、即時停戦を**  
主催者を代表してあいさつした、総がかり行動実行委員会の高田健共同代表は、国連憲章や国際社会の批判を無視して侵略行為を続けるロシア政府に断固抗議すると表明。「戦争に抵抗し、平和を求める全世界の人たちと連帯しながら、即時停戦を求めて声をあげ続けよう」と述べました。

ジャーナリストの志葉玲さんは、数日前までウクライナで取材していたが、病院の敷地や学校にミサイルが飛んできていたと告発。「ロシア軍は戦争犯罪を繰り返しています。こうした暴挙は止めないといけない」

**戦争準備の口実許さぬ**  
ウクライナ情勢などを口実に日本政府は、安保3文書の改定をはじめ戦争準備を進める政府に「憲法9条を持つ平和国家としての信頼を踏みにじろうとしている。私たちは、平和の声をあげていきたい」と語りました。

## 日本共産党碧南市委員会



市議会議員 市議会議員 市民運動部長  
山口はるみ 岡本守正 磯貝明彦  
☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718  
三度山町 2-70-4 笹山町 6-29 若松町 3-253

大軍拡・大増税許さな  
へきなん 19 行動  
3月19日 (日曜日)  
午前11時～12時  
東浦町 6-17 ピアゴ碧南東店  
(日進小学校)



(写真) ロシアのウクライナからの撤退を求め、日本の戦争準備に反対する集会参加者  
=24日、東京・日比谷野外音楽堂